

『いどもたちの体幹・感性』を、大切に育てています

〜就学前教育でさらに自立と自律の習慣化を〜

宇 陀市では、平成28年3月に「宇陀市教育大綱」を策定し、その基本目標の一つである、子どもたちの「夢を育む教育環境づくり」を重点目標に取り組んでいます。教育委員会では「学校・家庭・地域」の連携をより一層深め、子どもたちを見守り育てる教育環境づくりを進めながらこの目標の実現を目指しています。小学校・中学校に続いて今回各園・所の特色ある取り組みを紹介させていただきます。

『乳幼児期は、体験・経験を通して感性を体得する時期である』

幼 児期の発達の特性について大きく2つすることが大切であると考えています。その一つは、直接経験の中で、感動体験をさせることです。各園・所では自然の中でのびのび遊ぶ体験や裸足になって遊んだり、お年寄りとの交流会、田植えや音楽会、一日一話や絵本との出合い、働く活動、あいさつ運動、野菜育てや自分の口から伝える経験等の活動がとり入れられています。

『遊びや体を動かして、体幹を育てる時期である』

も う一つは、体を使って遊びや仕事などの経験をすることが大切である



宇陀市教育長 福田裕光

を大切に考えています。

『居場所』というのは子どもたちが安心していられる集団があることだと思います。自分も家族のために何かできたという思い「自己有用感」を伴ってこそ『居場所』ができると思います。この「自己有用感」を育てるためには、具体的に子どもたちが何かをしてくれた時に「ありがとう」ときちんと言葉にして伝えることが大切です。心の中で思っている言葉で伝えてあげないと子どもたちには伝わらないと思います。家庭でも、園・所でも「ありがとう」「うれしかった」等言葉で伝えることを共に大切にして欲しいと願っています。

『好きこそものの上手なれ』

家 庭と地域の協力を得ながら、子どもたちが理由抜きに「幼稚園が大好き！」「保育所が大好き！」と実感できる園所づくりが推進されますことを期待し、市民の皆様方の各地域でのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

子育て支援に力を入れています ぜひ宇陀市で子育てを！

少 子化といっても宇陀市ではここ数年、毎年150人前後の子どもたちが生まれており、各地域で元気な声が響いています。

未来の宇陀市をつくる子どもたちがすくすく育つために、「宇陀市子ども子育て支援事業計画」では『子どもたちの笑顔あふれる子育てしやすいまち』を基本理念に組織全体で様々な子育て支援の施策を進め、他の自治体に負けない先進的な事業にも取り組んでいます。

自然が豊かで空気がきれいな宇陀市で子どもが生まれ、すくすく育てられるように、そして、みんなが温かい目で子どもたちを見守り、かかわっていただけるようなまちになることを願っています。



健康福祉部長 森本彦司

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん

保育・教育目標

こころ豊かに、からだ弾ませ、
元気いっぱい おおうだっこ

基本的生活習慣の基礎

自分の身体を清潔にする方法を知らせることは乳児期から必要であると考え、歯科衛生士の楽しい歯科指導や看護師のお話、映像を使った手洗い指導などを計画的に実施しています。また、「スイートポテト作り」や「げんき君人形のお話」などで楽しく食育に取り組みます。生活の中では、幼児が乳児の着替えを手伝ったり片付けを教えたりすることを大切にしています。



親子で足指測定

豊かでやさしい心

年間を通し、園に隣接している心の森公園やふれあい交流ドーム、アニマルパークなどに（時にはおにぎりを持って）出かけ、自然の中でのびのび遊ぶ活動を取り入れています。それとともに異年齢での活動を積み重ね、心の成長に繋がるようにしています。また、大宇陀図書館での絵本やお話、町の中を歩き地域の人と触れ合うこと、高校生や小中学生との交流も大切にしています。

気づきや学びの感覚

3～5歳児の遊びは「体力」「表現力」「創造力」「観察力」の向上に繋がると考え、遊びながら学んでいける活動や時間の確保を大切にしています。

6月には親子で体力測定を実施し、家族で気持ちよく身体を動かしました。砂場遊びの充実や毎朝身体を動かす「うきうきタイム」、菜園活動、雑巾がけ、お話タイム等、多くの体験を重ね、心身の育成に繋がっています。

園児数：163名
住 所：大宇陀拾生 806 番地



大宇陀こども園



2歳児と5歳児と一緒に遊具の片付け



砂場遊びは学びの場

室生こども園

保育・教育目標

元気いっぱい 輝きいっぱい
笑顔いっぱい こども園



芝生の運動場でおはようタイム

あいさつは大きな声で自分から

毎朝と降園時に先生が、子ども一人ひとりにあいさつをして出迎えたり見送ったりしています。毎日の積み重ねの成果で、登園して来ると「おはようございます！」と、子どもたちは、元気いっぱい自分からあいさつができるようになってきています。乳児クラスの子どもたちも、お兄ちゃんやお姉ちゃんを見て、真似をしたり頭をぺこりと下げたりします。「あいさつは不思議な力をもった魔法の言葉」です。

ふかふかの芝生で体を動かす楽しさを

裸足になってかけっこをしたり、寝転んだり、スプリンクラーでシャワー遊びをしたり…ふかふかの芝生の園庭は遊びの宝庫です。毎朝の『おはようタイム』では、朝日をいっぱい受け、心も体も解放して全員で体を動かします。子どもたちの笑顔はキラキラとしていて輝きいっぱいです。裸足で活動するため、足腰も鍛えられます。乳児の手をそっと引く優しい年長児。異年齢の繋がりも深まります。

地域交流で笑顔いっぱい

菜園活動、おはなし会、藍染め体験、お茶会、カレーパーティー、陶芸教室、3B体操、老人会との交流会、畳コースター作りなど、地域の方に来ていただいて、様々な体験をしています。地域の方との交流は、子どもたちも大好きでいつも笑顔いっぱいです。園外保育では、子安地蔵の安産寺、室生寺、山上公園、滝谷花しょうぶ園などへ出かけます。地域の方々とふれあいながら、郷土を誇り、郷土を愛する子どもの育成を目指しています。

園児数：48名
住 所：室生三本松 1284 番地



灯りで表情を変える子安地蔵に感動する子どもたち

教育目標
あかるく やさしく
たくましい子ども

榛原幼稚園

元気にあいさつ（人とかかわる力）

あいさつはコミュニケーションの基本です。毎朝職員が、通園路や玄関で、元気にあいさつを交わすように働きかけています。少しずつ自分からあいさつする子どもも増えてきました。自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合うことを通して、コミュニケーション能力を育てるよう取り組んでいます。



一日の始まりは、「おはようございます」から



親子レクリエーション

心も体もたくましく（体力づくり）

心と体の健康は相互に密接な関連があることを踏まえ、まずは基本的な生活習慣の確立とともに、自分でできることは自分ですることを大切にしています。また、体力向上が基礎学力の向上に繋がると考え、戸外遊びの充実や園外保育、毎朝の「にこにこタイム」を計画的に実施することなどを通して、楽しみながら体力をつけ、しっかりした体幹づくりができるよう取り組んでいます。

いきいき、楽しく（主体的に活動する力）

遊びや生活を通して積極的に人や物とかかわり、いろいろな経験や体験を積み重ねることで、自分に自信をもち、意欲的に活動するようになってきました。友達と気持ちや力を合わせるなかで、自分で考え、自分で決める力を培い、自分の思いや願いを実現できる子どもになるよう取り組んでいます。

園児数：60名
住所：榛原萩原 2254 番地



あいさこいさ祭り（マーチング演奏）



榛原東幼稚園

教育目標
やさしく、げんきな、
はいばらひがしっこ



貨物列車シュッシュシュッ

チャレンジタイム —1日のスタートは体の目覚めから—

毎朝、全園児と一緒に活動する“チャレンジタイム”を行っています。踊ったり、ゲームをしたりすることで体が目覚めます。体を動かす心地よさや楽しさを味わうことで、遊びへの意欲や、体力の向上にも繋がっています。また、異年齢交流の場としてクラスの枠を越え、みんなで仲よくのびのび活動しています。



絵本おもしろいね～

一日一話 —絵本と出会おう—

一日に一つの絵本に出会おうと、取り組んでいます。先生に読んでもらう他に、お話会の方々がいろいろな絵本を用意し、素話や指人形などでもお話を聞かせています。また、幼稚園には絵本の部屋があり、自由に入っているいろいろな絵本にふれることもできることから、子どもたちはたくさんの絵本に出会うことができます。絵本は子どもの世界を広げると同時に知識の宝庫です。子どもの知識欲を満足させてくれています。



小学生とハイタッチ！

幼小交流 —安心して小学校へ—

小学校の生活の流れや授業の様子を見せてもらったり、一年生が幼稚園に来て小学校の様子を紹介してくれたりしています。小学校との繋がりを深め、親しみをもち、安心して小学校生活のスタートができるよう取り組んでいます。

園児数：75名
住所：榛原天満台西2丁目5番地

教育目標
いつもにこにこ元気いっぱい
榛原西幼稚園

榛原西幼稚園

元気いっぱい！身体を動かそう

毎朝ハッピータイムを行い、全員で体操を行っています。体操の後は、触れ合い遊びやゲーム遊びを行い、楽しみながら体を動かすようにしています。また、地域のいろいろなところに園外保育にでかけ、歩く機会を増やしています。

みんなともだち～異年齢児交流～

年齢の枠を越えて互いに学び合い成長していくことをねらいとして、交流を活発に行っています。異年齢の友達と触れ合うことで、協調性や思いやりの心が育まれると考えています。一緒に遊んだり、身体測定を行ったり、給食を食べたり、散歩に出かけたりして、みんなで活動することを大切にしています。

地域とつながろう

西小学校とは、互いに参観をしたり、田植えやアイガモの様子を見学させてもらったり交流を行っています。秋には合同での運動会や避難訓練、音楽会や音読劇の参観を予定しています。また、地域の老人会の方と、春はグランドゴルフを楽しみました。冬は伝承あそびを一緒にします。子どもたちとの触れ合いを、老人会の方とても楽しみにしてくださっています。

園児数：21名
住所：榛原下井足 1061 番地



ハッピータイム♪



全園児で給食「いただきます！」



菟田野保育所

保育目標
げんきで あかるい
うたのっ子



先生や友達と一緒に泥団子作り

元気な挨拶から、一日のスタート

登園とともに子どもたちの元気なあいさつが園舎に響いています。保育目標にある「げんき」は、『心身共に元気であること』、「あかるい」は、『困ったとき、悩んだときに、友達と一緒に考えたり試行錯誤したりしながら、次の明るい方向性も見いだすことのできる子ども』そして、『自分たちの地域を大切にできる子ども』の育成を目指し取り組んでいます。大好きな先生のもと、友達と一緒に活動する中で、互いに認め育ち合う関係を築き「自尊感情」を育てるようにしています。

「働く活動」を通して

毎月「働く活動」の日を設定し、自分たちが生活している保育所を自分たちできれいに清掃する活動を取り入れています。この活動で、心地よさであったり、人の役に立つという喜びを味わったりする『自己有用感』を高める活動に繋がり、散歩に出かけた時には、自らゴミを拾う姿も見られます。



ほうきも上手に使えるよ



今日のお話、何かな？

一日一つのお話から

クラス毎に毎日『一日一話』の取り組みを実施し、様々な絵本に親しんでいます。また、毎月地域の絵本の読み聞かせボランティアの方が保育所に来て、子どもたちに絵本の読み聞かせや紙芝居などをしてくださっています。心地よい声のトーンと、ゆったりとした空間の中での読み聞かせを、子どもたちは大変楽しみにし、2歳児クラスでも、先生たちの読み聞かせの真似をしながら、友達と一緒に楽しんでいる姿も見られます。

園児数：36名
住所：菟田野古市場 1263 番地

保育目標
**出会い豊かに、
 つなぐ、つながる**



ナスでペンギンを作ったよ

身体と心を育てる食育活動

園庭で様々な野菜を育てています。世話をすることで、野菜に興味をもち、食べ物への感謝の気持ちが育ってきています。今年は野菜の生長も良く、保護者の送迎時にトマトを食べてもらったリミントを自由に摘んで持ち帰ってもらったりしています。栽培物を話題にしてもらうことで、食事のマナーに気を付けることや朝ご飯を食べるとすぐに疲れないこと、体を動かしたらお腹がすいておいしいことに気づいてきています。

友達と一緒に きらきらタイム！（異年齢児交流）

毎朝、0・1・2歳児と3・4・5歳児に分かれて、リズムに合わせて体を動かしたりゲームをしたりして遊んでいます。毎日顔を合わせて体を動かして遊ぶことで親しみが増し、日常の中で年上児に世話をしてもらったり年下児を気遣ったりと自然な関わりがみられます。



聞いて！お話したいことあるの

**自分と相手の思いを大切に
 (聞く・話す)**

園からの簡単な連絡は子どもたちが自分の口で伝えたり、描いた絵を持ち帰って経験したことをお家の人に聞いてもらったりしています。自分のことを伝えて共感してもらう嬉しさや人の話を聞いて相手を受け入れる経験を積み重ねて欲しいと願っています。



傘に玉を入れるとボールの雨が降ってくる！

園児数：86名
 住 所：榛原萩原 2078 番地



社会福祉法人 はなぶさ福祉会 **しらゆり保育園**

保育目標
**自尊感情を高め子どもの力を
 引き出す**

「のびのび遊ぶ」体験主義

子どもが主体的な関わりをする中で、自発的な遊びや学習は、「教える」でなく「子どもの興味や意欲を引き出す」ということをスタンスに体を使った様々な体験として、園庭のロッククライミングやアスレチックで日々運動遊びをより身近に感じたり、また国立曽爾青少年自然の家の出前事業「親子で遊べ！げんキッズ」に参加するなど様々な体験の機会を作っています。



運動遊びを通しての達成感



お誕生日会 保護者の方も一緒に

**「心の教育」頑張ったことを
 みんなで褒めます**

毎日の対応時に子どもたちが、今日はどんなことを頑張っていたかをお伝えしています。家でのことも保護者の方が伝えてくれます。様々な子どもの様子を園と家庭が共有し、子育ての「協働」に繋がっています。

保護者の方と地域の方との「協働」

お誕生日会には各クラスの子どもたちや職員（保育士・看護師・栄養士・調理師）のお祝いの演技を見ます。また家の方も招待し、子どもの成長と一緒に喜び合い、子どもはみんなにお祝いされることで自己肯定感を育みます。また、いろいろな行事に、地域の方に来ていただき一緒に子どもたちの成長を見守っていただいています。



様々な食育保育（食農保育）

園児数：140名
 住 所：榛原下井足 1538-1

宇陀市の子育て応援事業を紹介！

問 こども未来課 (☎ 82・2236 / IP ☎ 88・9080)

出 産祝い品

お子さんの誕生をお祝いし、健やかな成長を願って、出産お祝い品として「ウッピー商品券」(1万円)をお渡ししています。

また、同時に子育て相談や子育て情報の提供を行っています。

*対象の方にはご案内します



ト リプルチルドレン応援給付金

多子世帯の子育て応援として、新たに生まれたお子さんを含め、児童を3人以上養育している保護者に「ウッピー商品券」(児童の第3子目は5万円、第4子目以降は10万円)をお渡ししています。

対象児童は新たに生まれたお子さんです。

*対象の方にはご案内します



フ ファーストバースデー事業

お子さんの初めての誕生日をお祝いし、元気にすくすくと成長することを願い、絵本のプレゼントを行っています。

絵本を開き、お子さんとゆっくり心ふれあうひとときをあげてください。

*対象の方にはご案内します



ぴ かぴか1年生応援給付金

子育て家庭の経済的負担の軽減を目的に、小学1年生または中学1年生となった児童がいる家庭に「ウッピー商品券」(1万円)をお渡ししています。

【対象】 市内在住の、小中学校1年生を迎えたお子さんを養育している保護者など

【申込み】 毎年6月の児童手当現況届時に問へ



自 自動車用ベビーシート (乳児用) の貸出

乳児を養育している方を対象に 概ね生後6か月間、自動車用ベビーシートを無料で貸出ししています。

【対象】 市内在住の概ね生後6か月前後までの乳児を保護または養育する方(予定者)

【期間】 6か月間

【申込み】 問へ

*貸出希望日(毎週水曜日)の1か月前より申込みできません。母子手帳、印鑑をご持参ください。



病 病後児保育(りすぐみ)

お子さんが発熱や下痢、感染症などの病気の回復期にあり、保護者が仕事などで家庭で保育ができない場合に利用ができます。

利用にはかかりつけ医を受診し、病後児保育診療状況提供書に医師の証明が必要です。

【対象】 生後6か月以上から小学3年生まで

【場所】 大宇陀こども園内

【利用料】 2000円(1日) 別途給食費300円

*利用にはあらかじめ事前登録が必要。病後児保育利用登録申請書は各こども園、保育所(園)、幼稚園、問にあります。

【申し込み】 問または大宇陀こども園(☎ 83・3511 / IP ☎ 88・9118)

